

2024 7

オリンピックイヤーに注目!!

# “躍動”する絵画

気鋭の16作家が描くアスリートほか

# 月刊美術

No.586

Since 1975



## 山本真澄 日本画展

7月17日～23日 ● 阪神梅田本店 8階/ハローカルチャー1・2 ☎06(6345)1201

1985年岐阜県生まれ。2010年京都造形芸術大学卒業。デビュー2015年準グランプリ。19年京都日本画新展大賞、23年京都府新鋭選抜展最優秀賞。人々が持つ思想、美意識を子供だけが持つ神秘性を通して描く。同会場では初個展。



山本真澄 誘いの蝶 日本画

## 虹の会 永井健志・松下雅寿 二人展

6月22日～28日 ● 岐阜・長江画廊 ☎058(262)0541

ともに手塚雄二氏に師事。院展への出品を軸にキャリアを重ねる東京藝大出身の日本画家。精緻な筆遣いで万葉の世界を描く永井健志。雄大な自然を独自の感性で表現する松下雅寿。両者の作品から常に進化し続ける現代日本画の世界を。



永井健志 初日 日本画

## Emerging Visions(エマージング・ヴィジョン)展

7月6日～8月18日 ● 銀座・ギャルリーためなが ☎03(3573)5368

今後の活躍が期待される若手を支えようとコロナ禍にスタート。5回目の今回は小津航、木下友梨香、竹内昌二、中比良真子、水野悠衣、村田奈生子、村本真吾の油彩画、日本画、立体約40点を展観する。



木下友梨香 チューリップ パネル、ペンキ

## 轟 悠(藏人)展 —とき放つトリコロールに愛の姿—

7月10日～15日 ● 日本橋高島屋S.C.本館 6階美術画廊 ☎03(3211)4111

宝塚でトップスターとして活躍していた轟悠が、退団後、作家活動をスタート。「ポーリング」というメディアウムにアクリル絵具を流し込んで描く技法で描いた作品約60点を発表。



轟悠 いつまでも アクリル

## eggo0090 NIBB展

6月20日～29日 ● 京都・大雅堂 ☎075(541)7388

2021年「げきりん♡過酷ユーエーション」(新宿眼科画廊)、22年「ぼくたちを痛めつけないおんがく」(DESIGN FESTA GALLERY)等のグループ展に参加。「お前を抱きしめて眠りたいけど 夢にお前が出てくるのは許せない」と題して個展を開催。

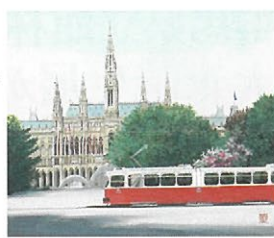


NIBB 悪/Unwholesome

## 岩永てるみ 日本画展 —新しい旅—

7月3日～8日 ● 日本橋三越本店 本館6階 美術特選画廊 ☎03(3241)3311

2000年東京藝術大学大学院博士後期課程修了。現在、院展特待、愛知県立芸術大学准教授。ヨーロッパの街並みや鉄道をモチーフに情緒あふれる世界観を描き出す。4年ぶりの海外取材で初めて訪れたルクセンブルクやエストニアの風景を中心に新作の数々を。



岩永てるみ Wiener Rathaus(ウィーン市庁舎) 日本画

## 澁澤星展 ☆・♀ (ニアリーイコール・ノットイコール)

7月17日～23日 ● いよつ高島屋 6階 美術画廊 ☎089(948)2111

研ぎ澄まされた感性とセンスで人物、動植物・風景などを描く。明確な輪郭線に頼らず具象と抽象を絶妙なバランスで織り交ぜた作品は、現実と幻想の間にいるような不思議な感覚に誘う。明るい夏の静物などのシリーズを中心に、「光」に焦点を当てた新作を披露する。現在、日本美術院院友。



澁澤星 咲き誇る 日本画

## 松本忠 作品展

6月20日～26日 ● 京王百貨店新宿店 6階 京王ギャラリー ☎03(5321)5300

全国各地を走る列車と四季折々の風景を描く鉄道風景画家・松本忠。今展にあわせて描き下ろした京王電鉄を題材にした作品のほか、原画・版画約50点を展示。「誰かのふるさとの駅をつないでいる鉄道がいつまでも引き継がれてほしい」との思いを込めた水彩画を展示。



松本忠 「夏空へのカーブ」京王電鉄 高尾線 高尾～高尾山口 水彩画